

【「フィルタリング」から「統合情報漏洩防止ソリューション」へ進化】 ALSI 国産 Web フィルタリングソフト「InterSafe」 富士キメラ総研の調査結果で市場シェア 1 位を獲得

国産 Web フィルタリングソフト「InterSafe (インターセーフ)」を開発・販売するアルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:麻地 徳男、以下 ALSI[アルシー])は、株式会社富士キメラ総研(以下、富士キメラ総研)が2009年7月21日に発行した「2009 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」の Web フィルタリングソフト市場において市場シェア 1 位(市場占有率 2008 年度実績:23.5%)を獲得したことを発表いたします(※1)。

また、ALSI では、同時に発表された市場規模の推移や当社独自の調査・予測結果を基に、今後の市場変化を予測し、今後の市場ニーズは総合的な情報漏洩防止対策に進化するものと分析いたしました。引き続き、Web フィルタリングソフトは ALSI が提供するコンセプト「Internal Security Solutions」の中核製品として位置付け、拡販に注力してまいります。製品ブランドである「InterSafe」については、市場の変化を先取りし、ALSI の統合情報漏洩防止ソリューションの統一ブランド名に変更し、2009 年 10 月より製品名称を一新いたします。

ブランドとしての「InterSafe シリーズ」は、Web フィルタリングソフト、USB メモリ暗号ソフト、統合ログ分析、ワークフローシステムなど、様々なカテゴリの製品を取り揃え、「Web フィルタリング」からさらに一歩進んだ「統合情報漏洩防止ソリューション」を提供いたします。

■ 富士キメラ総研による市場概況

- (1) 昨今の一般家庭でのインターネットを経由した被害の増加や「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」の施行などを受けて当該製品への注目度が高まっている中で、ユーザーは一般企業から文教、および一般家庭へと需要の裾野が拡大している。
- (2) そのため、景気低迷による IT 投資額が全体的に減衰する中で当該製品の市場は依然として堅調な成長を遂げている。大手企業では Web フィルタリング対策として当該製品及び Web セキュリティアプライアンスなどの導入が一巡した傾向にあるが、リプレイス時期を迎える企業も多いほか、中堅以下の企業での普及が本格化しており ISP 事業者を介した ASP サービスを始めとして需要は拡大傾向にある。
- (3) 製品技術に関わるトレンドに大きな変化は見られないが、現在最も一般的である URL フィルタリングだけでは対応できない Web アプリケーションが増加しているため、今後は Web2.0 などに対応した製品の需要が活発化するものと見られる。

■ 富士キメラ総研による市場規模推移

(1) 国内トータルマーケット

単位: 百万円、%

摘要	年度	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
		(実績)	(見込)	(予測)	(予測)	(予測)	(予測)
金額		15,300	16,000	18,000	20,000	21,000	22,000
	前年比	-	104.6	112.5	111.1	105.0	104.8

(2) 企業規模別マーケット

単位: 百万円、%

摘要	年度	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年	
		(実績)	比率	(見込)	比率	(予測)	比率	(予測)	比率	(予測)	比率	(予測)	比率
金額	大手	9,500	62.1	9,700	60.6	10,600	58.9	11,200	56.0	11,400	54.3	11,500	52.3
	中堅	4,000	26.1	4,300	26.9	5,000	27.8	5,900	29.5	6,300	30.0	6,700	30.5
	中小	1,800	11.8	2,000	12.5	2,400	13.3	2,900	14.5	3,300	15.7	3,800	17.3
		15,300	100.0	16,000	100.0	18,000	100.0	20,000	100.0	21,000	100.0	22,000	100.0

■ 富士キメラ総研による主要企業のマーケティング戦略

- (1) 同社(※)の「InterSafe」は一般企業や文教団体、コンシューマ層などの幅広いユーザーでの導入実績を誇っている。「InterSafe」の最新バージョンとしてバージョン 6.0 SP1 を 2008 年 12 月に販売開始し、新機能として設定したポリシー状態を管理する機能、規制解除申請機能、添付ファイル復元機能、検索キーワードの履歴確認及びランキング化機能等が挙げられる。
- (3) また、仮想化ソリューション対応として、仮想マシン上で運用可能なモデルを提供開始、異なる仮想マシン上で動くログ分析ツールとの連携した運用ケースや、冗長化対応として複数の仮想マシン上に設置する運用ケース、ASP 提供用の運用ケースなどにも対応可能である。

※同社=アルプス システム インテグレーション

■ ALSI のブランド戦略 ——「InterSafe シリーズ」の進化

この度 ALSI は、2009 年 10 月より「InterSafe」を、Web フィルタリングソフトの製品名から、ALSI の「統合情報漏洩防止ソリューション」のブランド名称として進化させ、2009 年 10 月より製品名称を一新することを発表いたします。

ブランドとしての「InterSafe シリーズ」では、Web フィルタリングソフト、USB メモリ暗号化ソフト、統合ログ分析、ワークフローシステムなど、様々なカテゴリの製品を取り揃え、「Web フィルタリング」からさらに一歩進んだ「統合情報漏洩防止ソリューション」として幅広いお客様に提供し、セキュアな環境で「情報を守り、活用する」製品を充実させてまいります。



統合情報漏洩防止ソリューション 「InterSafe」シリーズ

- Web フィルタリングソフト
「InterSafe Webfilter」
- クライアントセキュリティ
「InterSafe CATS」
- USB メモリ暗号化ソフト (8/24新発売)
「InterSafe SecureDevice」
- 統合ログ分析
「InterSafe LogDirector」
- ワークフローシステム
「InterSafe WorkFlow」

■ Web フィルタリングソフト「InterSafe Webfilter」製品概要

ALSI は 1997 年に日本で初めてフィルタリング事業を開始し、2000 年より自社開発の Web フィルタリングソフト「InterSafe Webfilter」の販売を開始しました。企業、官公庁、学校、家庭、ISPを中心に約 420 万ライセンス以上の導入実績があり、小学校や中学校、高等学校など、導入校は延べ 20,000 校以上に達しております。6 年連続で市場シェア 1 位を獲得しているほか、「日本 PTA 全国協議会推奨商品」に認定されており、国産製品ならではの充実したサポート体制のため、安心して利用できるフィルタリングソフトとして、教育現場で定着しています。

「InterSafe Webfilter」の URL データベースは、ALSI のグループ会社であるネットスター株式会社より提供されており、2009 年 7 月現在、2 億 4298 万 2082 ページ(76 カテゴリ)に及ぶ URL データベースが登録されています。日本国内最大規模の約 40 名の専任リサーチャーが目視で確認し、毎日更新しております(URL リサーチセンター: 仙台・東京・中国)。「InterSafe Webfilter」および URL データベースは、携帯電話会社 5 社 (NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイル、ウィルコム、イー・モバイル)にも採用されております。

※1:当リリースに記載されている、市場シェア、市場分析、市場推移に関しては、富士キメラ総研が発行している「2009 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」に記載された内容を引用したものです。弊社による自社集計は行っており、富士キメラ総研に引用の許可を得た上で発表しております。また、市場占有率は同率 1 位となっております。

※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先

アルプス システム インテグレーション株式会社

URL: <http://www.alsi.co.jp/>

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7

TEL: (03)5499-8043 FAX: (03)3726-7050

広報担当: 桑野 宏子 (kuwano@alsi.co.jp)